

## ライフル射撃部

○・三秒にかける青春

照準を確認して呼吸を一回。トリガーに指をかけると同時に銃に頬を付ける。瞬きを二回、呼吸を止めて撃発のタイミングを待つ。歓声は遙かに遠のき、心臓の鼓動が静寂を邪魔する……

弾丸が中心から大きくそれ九・〇点、ため息と歓声の中、高橋佳伶(三年)は静かに銃を置いた。平成二十八年の岩手国体少年少女エアライフル決勝、昨年の和歌山国体では今回と同じ四位。忘れ物を取りに戻ってきた今回の国体、一年間フォームを改善し、経験も実績も人一倍積んできた。MPA選手(オリンピックでメダル獲得の可能性もある選手)に指定されたプライドもある。



四一・七点、三位以下に大差をつけ大会新記録で本戦(予選)を通過した。振り返れば、夏の全国高校選手権も大会新で本戦を通過した。決勝は予選成績が〇点にクリアされる。高校選手権同様に運から突き放された瞬間だ。

視覚情報が指先まで届く生物学的な時間と、弾丸が弾倉から銃口へ抜けるまでの物理的時間の合計が〇・三秒。射撃選手はこの〇・三秒のために、莫大な労力と時間を費やす。

南陽高校ライフル射撃部は現在

## 在校生部活動紹介

一年生七名、二年生六名、三年生八名の二十一名で活動しています。

①「文武両道」②「挨拶の励行」③「全国制覇」を目標に掲げ日々の活動を行っています。  
(ライフル射撃部顧問 加地信彦)

## 男子ソフトボール部

現在、男子ソフトボール部は一年生七名、二年生九名の合計十六名で活動しています。三年生七名が八月に引退し、九月から新チームがスタートし主将をやらせていただいている左右田翔大と申します。



男子ソフトボール部は、県内に一校しかないために対戦相手は県外の高校となり県外遠征が数多くありますが、遠征費を県教育委員会やソフトボール協会、本校体育文化後援会から支援をいただき活動しています。また、平成二十八年七月には遠藤学事振興会からの助成金と保護者会の協力を得て照明設備が設置されました。暗くなってもグラウンドで練習ができるようになり、より一層日々の練習に力を入れられるようになりました。

平成二十九年のインターハイが南東北三県で開催されますが、ソ

フトボール競技が山形県南陽市で開催されることが決定し、地元インターハイ優勝を目標に精進しています。様々な方々からの支援と先輩方の伝統があつてからこそ男子ソフトボール部であるという事を胸に刻み、感謝の気持ちをお忘れず目標達成のために頑張ります。平成四年のべにばな国体では、男子ソフトボール部が全国優勝しています。次は、自分達が南東北インターハイで優勝して南陽高校の歴史に名を残したいと思っています。今後皆様のご指導ご声援を宜しくお願いいたします。

(主将 左右田翔大)

## 吹奏楽部

吹奏楽部は現在、二年生十一名

一年生十二名の計二十三名で活動しています。夏に行われる全日本吹奏楽コンクール、冬のアンサンブルコンテスト、定期演奏会をはじめ、地域への訪問演奏や壮行式の演奏などを多数行っております。

毎年、南陽高校同窓会総会において、演奏をご披露させていただいていることを感謝申し上げます。この場では、演奏だけでなく南陽高校、宮内高校、そして赤湯園芸高校の校歌も歌わせて頂いています。総会に参加するたびに、多くの先輩方が熱い思いをもって南陽高校を支えておられることを痛感

します。学校の歴史を知り、校歌を歌い継いでいく意味を考えながら、毎年参加させて頂いています。特に平成二十八年度は、夏の吹奏楽コンクール山形県大会において、高校小編成の部で十二年ぶりに金賞を受賞いたしました。様々な課題が山積する中でしたが、部員が一丸となって励ましあい、悔いのない演奏ができました。これも皆さまのご支援の賜物と感謝しております。また五月に行われた定期演奏会は、新しく完成した南陽市文化会館大ホールで開催され、多くのお客様にご来場頂きました。今後皆様に愛される吹奏楽部となるよう、部員一同努力して参りますので、なお一層の応援を賜りますようお願いいたします。

